

畜産ニュース

○極小卵、混合卵に価格差

例年極小卵の多くなる6月から、末端での夏場の売行不振もあって、取引価格に格差をつけて取引されるが、今年も7月10日から京阪神卵業協会連合会、全販連大阪支所では、極小卵、混合卵は別個に取扱い、実勢価格によって仕切りすることになった。格差の中は7月の実施当初は1kg当り10円程度であるが、鶏卵価格の上がる8月にかけては極小卵の出回りがさらに多くなるので、約20円～30円になるものとみられる。なおこれにもなるとなると生産者側へは、極小卵、混合卵の表示を厳重にするよう望まれている。取扱いの基準はつぎのとおりとなっている。

極小卵＝正味13kg入(1kg当り290コ以上の小卵を含むもの) 10kg入(同221コ以上の小卵を含むもの)
混合卵＝極小卵を大、中卵の混合の場合。

鶏卵の取引規格改正 7月1日から農林省規格採用

阪神市場での鶏卵の取引規格が7月1日から改正され、先に農林省の鶏卵規格設定委員会で決定した各付基準によることになった。鶏卵の規格改正はかねて集団養鶏地区や鶏卵の品質改善のすすんでいる地域からの強い要望もあり、全国的な取引規格の統一が待たされていたが、最近では各産地間の品質の格差も少なくなってきたので、荷受機関や生産者団体など関係者で検討の結果、いよいよ従来の地域別格差の廃止にふみきることにしたものの。

格付基準の要点はつぎのとおり。

- (1) 特級品＝鮮度よく、清浄、無傷、卵形正常、気室は4ミリメートル以下、重量は正味、容器は新箱に限る。
- (2) 1級品＝重量、容器は特級品と同じとし、気室は8ミリメートル以下、2割以内の2級品の混入を認める。
- (3) 2級品＝卵殻わずかに汚染、異常があるもので、気室は8ミリメートル以上で移動するもの。5%以内の級外品の混入を認める。容器は新箱に準じ清潔なもの。
- (4) 特殊品＝赤卵、地卵、汚卵、奇形卵、薄殻卵
なおこの改正にもなう系統出荷の場合の全販連大阪支所での基準値としては、新規格の1級品の高値を基準とする(従来の相場では近畿もの高

値に相当) ことにしている。

○全国酪農協会役員改選

奥山氏理事に

全国酪農協会では6月4日、東京代々木の酪農会館で通常総会を開き役員改選の結果、会長に窪田喜照氏(再)を選んだほか、理事に岡山県酪農連顧問の奥山吉備男氏(再)など22名を選出した。

○共済指定獣医師の乳牛繁殖障害講習会開催予定

日本獣医師会の主催で7月27日、県庁9階ホールで農業共済団体指定獣医師等を対象に、乳牛の繁殖障害についての講習会を開催する。なお28日には、県では農林省から大塚技官を招き家畜共済運営改善協議会を行なうことにしている。

[講習会開催計画]

- 1、日 時 7月27日、午前9時から4時まで
- 2、会 場 岡山市内山下県庁9階ホール
- 3、講習及び講習課題
日本大学教授 常包正氏「乳牛の雌不妊症の診断と治療」
- 5、受講者 農業共済団体指定獣医師 農業共済団体獣医師職員、県関係職員畜産団体獣医師職員
- 6、主 催 社団法人日本獣医師会
(担当岡山県獣医師会)

○豚の人工授精講習会

県畜産課では、8月16日から25日までの10日間、第2回の豚の人工授精師講習会を津山市大田の岡山県酪農試験場で開催する。受講対象は県の畜産関係試験場の講習生や養豚振興計画地域の種豚飼育者が主体で、講習予定人員は30名となっている。講習内容は関係法規や一般的な基礎知識と、人工授精の専門的科目についての理論および実習で、終了後の修業試験の合格者は豚の人工授精免許の取れる資格が得られる。受講希望者は、農林事務所を通じて8月5日までに県畜産課まで受講願を提出することになっている。